RED DATA BOOK KARUIZAWA 2028



軽井沢町版
レッドデータブック 2028

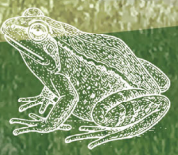
町内の絶滅のおそれのある動植物と重要な環境













2028 年 3 月

軽井沢町

第1章

軽井沢町版
レッドデータブックとは



第 1 章 軽井沢町版レッドデータブックとは

1.1 レッドデータブックとは

レッドデータブックは、生物多様性の保全のために、絶滅のおそれのある野生生物（レッドリスト）をまとめた本です。国際自然保護連合（IUCN）によって 1966 年に発行された本の表紙が赤かったことからレッドデータブックと呼ばれるようになりました。

1.2 軽井沢町版レッドデータブック策定の目的

町内の自然環境、生物多様性の保全とその持続的な利用の普及啓発、開発行為と自然保護の調整（環境アセスメント等）を図る上での基礎資料として、町内の希少動植物の生息・生育状況を把握することを目的としてレッドデータブックを作成した。

【対象となる項目】

・開発と自然保護の調整（自然保護対策要綱、環境アセスメント等）を図る上での基礎資料の整備
・希少な動植物とその生息・生育環境となっている場所の保全策検討（自然共生サイト等）
・子どもたちへの環境教育を含めた普及啓発のための基礎資料
・レッドデータブック作成を通して築かれる保全対策に関わる人的ネットワークの形成

1.3 レッドデータブックにて整理した内容

- 軽井沢町の自然環境の特徴
- 軽井沢町に生息・生育する動植物
- 軽井沢町版レッドリスト
- 軽井沢町の生態系とホットスポット

1.4 策定の流れ

策定に至る経過の概要を記載

第2章

軽井沢町の自然環境の特徴



第2章 軽井沢町の自然環境の特徴

軽井沢町の自然環境の概要、特徴を記載
浅間山の火山活動による町の地形の成り立ちや湿地環境の存在、草刈り場としての利用や別荘地の形成などの歴史を含め、自然、人為的な経過を踏まえた町の環境の特徴を記載

2.1 軽井沢町の位置

2.2 地形・地質

2.3 水環境

2.4 土地利用

2.5 気象

第3章

軽井沢町に
生息・生育する動植物



第3章 軽井沢町に生息・生育する動植物

3.1 軽井沢町に生息する動物

整理された全種目録をもとに、町内に生息する動物の概要を分類群ごとに紹介
軽井沢にゆかりのある生物（名前にアサマがつくなど）や外来種の生息状況も紹介
全種目録は資料編に収納

(1) 哺乳類
(2) 鳥類
(3) 爬虫類

3.2 軽井沢町に生育する植物

整理された全種目録をもとに、町内に生息する植物の概要を紹介
軽井沢にゆかりのある生物（名前にアサマがつくなど）や外来種の生息状況も紹介

3.2 軽井沢町の植生

植生図をもとに町内の植生の概要、特徴について記載
現地確認した植生の現状や課題（温暖化、シカの食害等）についても紹介

第4章

軽井沢町の
レッドリスト選定種



第4章 軽井沢町版レッドリスト

4.1 レッドリスト種とは

レッドリスト種は、軽井沢町に生息・生育している野生生物のうち、なんらかの要因で個体数や分布域が減少し、絶滅のおそれが高まっている種です。

レッドリスト種に選定された種は、このままの状態が続くと将来的には個体数や分布域が更に減少するだけではなく、軽井沢町から絶滅してしまう可能性があります。それは、軽井沢町の自然環境が悪化していくことを意味し、これらのレッドリスト種の減少を防ぐことは、軽井沢町の自然環境を守っていくことにつながります。

(1) 対象とした分類群

今回のレッドデータブックの作成にあたり、レッドリスト整理の対象とした分類群を下記に示す。対象とする分類群については、軽井沢町における過去の調査情報の存在状況や、今回の作業において、現地調査等を実施しリストを評価する体制の構築状況を鑑みて整理した。

初回のレッドリストの作成となるため、●●や●●については、情報の整理が不十分であり…

○動 物	○植 物
・哺乳類 ・鳥類 ・爬虫類 ・両生類 ・淡水魚類 ・昆虫類 ・その他無脊椎動物（貝類、甲殻類、クモ類）	・維管束植物（種子植物、シダ植物） ・その他植物（藻類、蘚苔類など） ○植物群落

(2) レッドリストの選定基準

今回のレッドリストの改訂にあたっては、絶滅のおそれのある野生生物の全国的な選定基準となる環境省のカテゴリー区分をほぼ準用したカテゴリーとし、長野県内における位置づけや町内の生育・生息の経過や実情に応じた種や個体群を選定した。なお、環境省カテゴリーの定量要件については、データの蓄積が十分でないと判断し、参考するに留めた。

また、絶滅危惧ＩＡとＩＢ類の区分も行わなかった。なお、一部の分類群については、個別の判断基準を設けて選定を行った。

また、評価の基準年は 2027 年とし、絶滅の判断にあたっての最後の記録年は 1977 年、絶滅危惧Ⅰ類の情報量が少ない種として最後の記録は 1977～1997 年を目安とした。

近年の記録の目安としては、10 年以内とし 2017 年以降の記録とした。

※植物群落の選定基準も記載

表　軽井沢町レッドリストでのカテゴリー評価基準（案）

カテゴリー(略号)	選定の判断(定性判断)
絶滅（EX） 軽井沢町において既に絶滅したと考えられる種	過去に軽井沢町に生息・生育したことが確認されており、国内での生息・生育状況のいかんを問わず、町内においては飼育・栽培下を含め、既に絶滅したと考えられる種。 過去の確実な生息・生育情報があり、信頼できる調査や記録により絶滅していることが確認されている。もしくは**過去 50 年間**に信頼できる生息・生育の情報が得られていない。
野生絶滅（EW） 軽井沢町において飼育・栽培下でのみ存続している種	過去に軽井沢町に生息・生育したことが確認されており、国内での生息・生育状況のいかんを問わず、町内において飼育・栽培下では存続しているが、野生では既に絶滅したと考えられる種。 過去の確実な生息・生育情報があり、信頼できる調査や記録により飼育・栽培下以外では絶滅していることが確認されている。もしくは**過去 50 年間**に信頼できる生息・生育の情報が得られていない。
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) ※ＩＡ類＋ＩＢ類 軽井沢町において絶滅の危険性が高い種	次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 ①町内における生息・生育地が●●である。 ②既知の全ての個体群で、危機的水準にまで減少している。 ③既知の全ての生息・生育地で、生息・生育条件が著しく悪化している。 ④既知の全ての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ⑤ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 【情報が少ないもの】 ⑥**それほど遠くない過去（30～50 年）**の生息・生育記録がないものの、その間信頼すべき調査が行われておらず、現在も生息している可能性のある種。
絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 軽井沢町において絶滅の危険が増大している種	次のいずれかに該当する種。 【確実な情報があるもの】 ①町内における生息・生育地が●●である。 ②大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 ③大部分の生息・生育地で生息・生育条件が明らかに悪化しつつある。 ④大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲･採取圧にさらされている。 ⑤分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。
準絶滅危惧（NT） 軽井沢町において絶滅の危険度は現時点では小さいが条件変化で絶滅危惧に移行し得る種	生息・生育状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断される 種。具体的には、分布域の一部において次のいずれかの傾向が顕著であり、今後 さらに進行するおそれがある種。 ①町内における生息・生育地が●●である。 ②個体数が減少している。 ③生息・生育条件が悪化している。 ④過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 ⑤交雑可能な別種が侵入している。
情報不足（DD） 軽井沢町において評価するだけの情報が不足している種	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行しうる次のいずれかの要素を有しているが、生息・生育状況をはじめとして、カテゴリーを判定するに足る情報が得られていない種。 ①どの生息・生育地においても生息密度が低く希少である。 ②生息・生育地が局限されている。 ③生物地理上、孤立した分布特性を有する(分布域がごく限られた固有種等)。 ④生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている。

4.2 軽井沢町版レッドリスト

(1) 軽井沢町版レッドリストの概要

軽井沢町に生息している野生生物のうち、動物●種、植物●種、植物群落●箇所、がレッドリストとして選定された。

分類群	目数	科数	種数	RL 候補種	RL 候補種（検討中）
哺乳類	7	18	37	12	
鳥類	17	53	175	71	
両生類	2	6	11	6	
爬虫類	2	5	9	2	1
魚類	6	11	24	8	
昆虫類	23	290	3,033	254	
その他無脊椎動物	15	41	182	82	
維管束植物	51	154	1,857	440	83
その他植物	4	2	4	1	
植物群落					
総計	**127 目**	**580 科**	**5,332 種**	**876 種**	**84 種**

(2) 選定された種及び群落

分類群ごとに軽井沢町版レッドリストとして選定された種や群落を紹介

※次ページからのように掲載予定

1 ｜ 哺乳類



1）選定種の概要

レッドリスト種として選定された哺乳類は●種で、●●や●●のような種が多かった。

※分類群ごとにレッドリストに選定された種の概要、特徴、種数などを紹介

2）選定種の紹介

種ごとに写真や説明を掲載

種名　分類群名　[〇〇〇〇科]

学名　aaaaaaaaaaaaa

軽井沢町：絶滅危惧Ⅰ類　CR+EN

長野県：絶滅危惧Ⅱ類　VU

環境省：準絶滅危惧　NT

特　　徴	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
生息環境	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
現在の生息状況	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
確認記録	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
減少要因	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

4 軽井沢町のレッドリスト選定種

2 | 鳥　類



4 軽井沢町の絶滅のレッドリスト選定種

3 | 爬虫類



4 軽井沢町の絶滅のレッドリスト選定種

4 | 両生類



4 軽井沢町の絶滅のレッドリスト選定種

5 | 魚類



4 軽井沢町のレッドリスト選定種

6 | 昆虫類



4 軽井沢町のレッドリスト選定種

7 | その他無脊椎動物



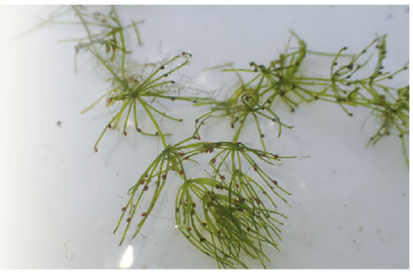
4 軽井沢町のレッドリスト選定種

8 | 維管束植物



4 軽井沢町のレッドリスト選定種

9 | その他植物



4 軽井沢町のレッドリスト選定種

10 | 植物群落



RED DATA BOOK KARUIZAWA 2028

第5章

軽井沢町における生態系とホットスポット



第5章 軽井沢町における生態系とホットスポット

5.1 軽井沢町にみられる生態系

軽井沢町は、標高が高く冷涼や気候であること、浅間山の火山活動の影響を受けた地形の成り立ちなどを踏まえて、多様な生態系が存在しています。

森林、草地、裸地、農地、河川、湖沼、湿地、社寺林、崖地、洞窟　など

5.2 生態系ごとの特徴とホットスポット

軽井沢町にみられる生態系について環境ごとにその特徴とホットスポットを紹介

(1) 森林

町内に見られる代表的な植生を挙げてそこにどのような生態系が存在するかを紹介

① 環境の特徴

地形・地質、水環境、植生、土地利用など、その場所を特徴づける環境の概要を分かりやすい写真も掲載しながら紹介する。

② 主な植生･生物

代表的な植物群落や、その環境を特徴づける生物、希少種・重要種などを紹介する。

③ 生物多様性上の特徴･価値

種多様性、希少種・重要種の生息・生育状況、特徴的な植物群落、生態系の健全性・自然性、生態系ネットワーク、軽井沢らしさ等の視点から、その環境の特徴や価値を分かりやすく説明する。

④ 成立･維持の背景

火山活動や湧水などの自然的な成り立ち、草刈り・農業・森林管理など人との関わりや土地利用の歴史について、特徴的な事項がある場合に紹介する。

⑤ 現状･保全上の留意点

外来種の侵入、植生遷移、シカによる採食、開発や利用、管理の変化など、その環境を将来にわたって残していく上で留意したい事項がある場合に簡潔に紹介する。

⑥ 町内における代表的な場所の紹介(名称･位置)

環境の名称、町内でのおおよその位置、範囲、標高、場所ごとの環境や生態系の概況などを記載。

資料編

資料１ 策定の経緯

策定に至る経緯として調査、会議、イベントなどの開催状況などを紹介

資料２ 策定の体制

策定に関わった委員や協力者、写真提供者等を紹介

資料3 参考･引用文献

生物情報の整理に使用した文献や種の説明や本文の作成にあたり参考、引用した文献を紹介

資料4 軽井沢町の生物目録（全種目録）

軽井沢町において記録のある生物種の全種目録を分類群ごとに掲載



RED DATA BOOK KARUIZAWA 2028